

高専OB図鑑

福島研究開発部門



国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

次世代のチカラとふくしまの復興が、新しい未来を切り拓く！

福島研究開発部門は、2014年4月に設置されました。この部門は、「ふくしまの復興に貢献する」をスローガンに東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所(1F)の廃止措置や福島環境回復の着実な実施に向け技術的側面から積極的に関与し、基礎基盤から成果の現場への反映に至る幅広い分野の研究開発に取り組んでいます。

全国の高専の学生の皆さん、是非私たちと一緒に世界でも類がない研究開発にチャレンジしませんか。

本誌では、研究開発の現場で活躍する高専出身の先輩職員を紹介します。

福島研究開発部門にて活躍する先輩職員



伊藤 正泰さん

所 属：計画管理室
兼 大熊分析・研究センター
分析・研究施設整備部
整備第2課
入 社 年：平成21年

【業務内容】

入社後は放射性物質を扱う施設において、金属の組織観察やその前処理、放射性物質を扱う機器のメンテナンスなどに携わってきました。平成30年4月からは、現在の計画管理室に所属し、予算の管理など、あまり経験したことがない業務に、日々取り組んでいます。

【先輩へ一言】

『原子力』と聞くと何をやっているのか想像できず、抵抗を感じるかもしれませんが、実は、原子力を専門とする人以外に、自分のような機械系や建設など幅広い分野の人がいて成り立っている業界です。興味をお持ちでしたら、ぜひ、一度見学にお越しください。



佐藤 優樹さん

所 属：廃炉国際共同研究センター
遠隔技術Div
3Dイメージング技術開発Gr
入 社 年：平成27年

【業務内容】

1Fの廃炉作業環境において、目に見えない放射性物質の位置や拡がりを見える化することにより、作業の方々への被ばく線量の低減や除染計画の立案に役立てることを目的とした放射線イメージング技術の開発に従事しています。

【先輩へ一言】

廃炉の現場には、一つの要素技術だけではクリアできない課題が多く存在します。JAEAには色々な専門家がおりますので、自分の専門と異分野の知見・技術を上手く融合することによって、新しい研究領域の開拓に着手できる魅力的な職場になると思います。



荒川 了紀さん

所 属：櫛葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部
利用促進課
入 社 年：平成28年

【業務内容】

私がいる職場は、廃止措置や災害現場で活用するロボット開発を推進している供用施設です。開発試験に使用される水槽や階段などの試験設備の整備や高度化を行っています。

【先輩へ一言】

高専には沢山の求人が来ますが、少しでもJAEAに興味があれば是非共に頑張りましょう。学生時代に「面倒くさいな...」と思った事が意外にも役に立ちます。「気になるけど...大変そう」な事にチャレンジすることが大事です。残りの学生生活を楽しんでください。



伊藤 倫太郎さん

所 属：櫛葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部
利用促進課
兼 計画管理室
入 社 年：平成27年

【業務内容】

私が所属する櫛葉遠隔技術開発センターはロボット等の試験施設で、私は利用者への技術的支援や利用促進に係る業務に従事しています。また、VRシステムの開発にも携わっており、1F廃止措置に貢献できるシステムとするため、日々奮闘中です。

【先輩へ一言】

勉強のみならず私生活での経験も社会人になってから活かせることが多々あります。学生のうちしかできないこともあるので、残りの学生生活で色々なことにチャレンジして多くの経験を積んで下さい。



岡田 尚さん

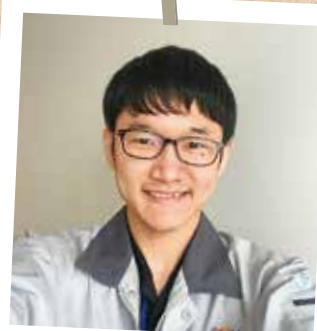
所 属：櫛葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部
利用促進課
兼 研究連携成果展開部
産学連携戦略室
入 社 年：昭和63年

【業務内容】

原子力施設の災害対応や1Fの廃炉作業において遠隔技術の活用は必須で、当センターはこれらの実証試験や訓練も含め、それ以外の遠隔技術開発者の皆様にもご利用いただいております。私は利用者への技術的支援や利用促進に係る業務についています。

【先輩へ一言】

高専は自ら課題を検討し(先生・仲間と議論し)、必要な試験装置を自ら組上げ、試験による事実に基づく課題解決ができた記憶しております(古い記憶ですが)。これらの経験は卒業後非常に役に立ちます。自ら考え動き、事実の追求に努めることを期待しています。



角谷 聡洋さん

所 属：櫛葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部
利用促進課
兼 研究連携成果展開部
産学連携戦略室
入 社 年：平成31年

【業務内容】

櫛葉遠隔技術開発センターは、1Fの廃止措置において人が立ち入れない区域で作業を行う際に必要不可欠な遠隔技術の開発を行えるように整備された実証試験施設です。私は、整備された施設の整備・高度化・利用促進等の業務を行っています。

【先輩へ一言】

4月に入社し北海道から福島にきて半年が経ちましたが、福島研究開発部門の業務は、福島復興に大きく貢献できるととてもやりがいのある仕事だと感じています。福島研究開発部門の業務に興味が出た方は、是非とも一緒に働きましょう！



土田 佳裕さん

所 属：櫛葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部
利用促進課
兼 計画管理室
兼 研究連携成果展開部
産学連携戦略室
入 社 年：平成26年

【業務内容】

櫛葉遠隔技術開発センターは、ロボット等の開発実証施設として施設供用を行っています。私は主に、利用促進のためのホームページの維持管理並びに学会等イベントでのブース対応、JAEA内外の関係箇所との調整等の業務を行っています。

【後輩へ一言】

原子力は、機械、電気、化学、建設等様々な分野からなる総合的学問です。私の業務においても、高専で学んだ情報や制御工学の知識が役立っています。他の分野の人との関わりを通じて見聞を広め、社会に貢献したい人、原子力分野で働いてみませんか？



相田 玲奈さん

所 属：大熊分析・研究センター
分析管理準備室
兼 原子力科学研究所
臨界ホット試験技術部
BECKY技術課
入 社 年：平成30年

【業務内容】

大熊分析・研究センターの運用開始に向け、臨界ホット試験技術部BECKY技術課にて基本的な放射線管理区域内作業、放射線管理および分析装置や試料の取扱い方を学び、さらに施設の点検業務を通して、施設の保守管理についての知識を習得しています。

【後輩へ一言】

入社から1年が経とうとしています。当初はわからないことだらけでしたが、毎日新しいことを覚えていく喜びを感じ、優しい先輩や同期に囲まれて充実した日々を過ごしております。自分のやりたいこと、好きなことを大切に、残りの学生生活を謳歌してください。



秋元 茉耶さん

所 属：大熊分析・研究センター
分析管理準備室
兼 核燃料サイクル工学研究所
プルトニウム燃料技術開発センター
技術部 品質管理課
入 社 年：平成30年

【業務内容】

1Fの事故により発生した放射性廃棄物や燃料デブリの分析と研究を行う大熊分析・研究センターの運用に向けて、他拠点で放射性物質の分析業務等のノウハウや分析に係る品質保証体制を学んでいます。1Fの廃止措置と福島復興に向けて頑張っています。

【後輩へ一言】

希望する職種(分野)は学生時代だけでなく、就職後も変化していきます。自分の可能性を広げるためにも広い視野で物事を見れるようになってください。



島田 梢さん

所 属：大熊分析・研究センター
分析管理準備室
兼 廃炉国際共同研究センター
廃棄物処理処分Div
廃棄物分析技術開発Gr
入 社 年：平成27年

【業務内容】

大熊分析・研究センターは、1Fの廃止措置を推進するため放射性物質を分析・研究する施設です。当センターの運用にあたり本務の分析管理準備室では、分析ノウハウの強化や分析マニュアルの整備に携わっています。

【後輩へ一言】

就職活動は様々な企業を知るチャンスです。活動中は悩んだり、苦労することがあると思いますが、自分に合った企業を見つけてください。



堀田 拓摩さん

所 属：大熊分析・研究センター
分析管理準備室
兼 原子力基礎工学研究センター
原子力化学Div
分析化学研究Gr
入 社 年：平成27年

【業務内容】

本務である大熊分析・研究センター分析管理準備室では、茨城県の東海地区にある原子力科学研究所において、1F廃棄物の分析要素技術の開発として、誘導結合プラズマ質量分析計(ICP-MS)を用いた放射性核種の分析手法の合理化を実施しています。

【後輩へ一言】

高専で学んだ知識は、社会人生活において役立つことが多く、いまだに高専で使った教科書を見返すことがあります。仕事を楽しくするために、高専で多くの事を学び吸収してください。



村上 絵理奈さん

所 属：大熊分析・研究センター
分析管理準備室
兼 廃炉国際共同研究センター
研究推進室
入 社 年：平成29年

【業務内容】

私は福島第一原子力発電所事故により発生した廃棄物を効率的に分析するための技術開発に携わっています。大量な廃棄物を効率よく分析し、その性状を把握することで、廃棄物の適切な保管、処理処分方法を決めることができ、1Fの廃止措置へつながります。

【後輩へ一言】

高専時代に学んだ専門分野の知識や経験は現在でも役立っていますし、業務に取り組むうえで自信にもつながっています。社会人になると時間的余裕が少なくなってしまうので、比較的自由の利く学生のうちに色々なことに挑戦し、沢山の経験をしてください。



中間 茂雄さん

所 属：福島環境安全センター
放射線監視技術開発Gr
兼 環境動態研究Gr
兼 放射線計測技術Gr
入 社 年：平成12年

【業務内容】

1F事故の発生までは、高レベル放射性廃棄物の地層処分の研究を行っていました。現在は、放射性物質で汚染された環境の放射線量を測定するための研究開発や環境修復のために除染を行った場所の放射線量の変化傾向について研究しています。

【後輩へ一言】

私は工業高校から高専4年に編入したため、高専生活は2年間と短かったですが、自由な校風の中で多くを学び、濃密で貴重な期間でした。自由な発想と夢を持って自ら計画、実行し、努力を惜しまないで欲しいです。『なりたい自分』に必ずなれると信じています。



青木 譲さん

所 属：福島環境安全センター
放射線計測技術Gr
入 社 年：平成29年

【業務内容】

福島県の三春町にある福島環境安全センターにて、環境中における放射性物質の挙動について調査研究を行っています。主な業務として、魚類や植物中の放射性ストロンチウムを誘導結合プラズマ質量分析計にて分析しています。

【後輩へ一言】

私は、学生の頃、化学を専攻していたため実験器具や試薬の取扱い等の経験を活かすことができ、日々の業務にやりがいを感じています。また、入社後、放射線等について学ぶ環境が整っているため、放射線に関する知識がなくとも心配ありません。



御園生 敏治さん

所 属：福島環境安全センター
放射線計測技術Gr
兼 環境動態研究Gr

入 社 年：平成26年

【業務内容】

放射性物質の環境中での挙動について、沿岸域を対象として調査研究を行っています。主な内容としては、「海底土等に含まれる放射性セシウム等の放射能濃度の測定」、「海水中の浮遊物の量と自然現象（降水、水温、海流の流れ等）との比較検討」です。

【後輩へ一言】

「これまで学んできたこと」、もしくは、「これから学んでいくこと」が、これから先、全く考えていなかったところに繋がることが多々あります。各自の専門性を大事にして頂いたうえで、その専門性を活かす、応用して物事に関わる力を養ってください。



市井 紗也加さん

所 属：施設部 工務課
兼 原子力科学研究所
工務技術部 工務第1課
兼 大熊分析・研究センター
大熊施設部 大熊工務課

入 社 年：平成29年

【業務内容】

原子力科学研究所内の原子力施設であるNUCEF施設他にて、実機教育を受けながら、放射線管理区域を伴う機械室設備（受変電設備、非常用電源設備、給排気設備、液体排気設備、圧縮空気設備等）の保守管理や、請負業者の管理を行っています。

【後輩へ一言】

高専で学んだ、電気、機械の基礎知識が業務に役立っており、現場で設備を見て、触れて、さらなる知識や技術力を習得できています。施設の安全・安定、そして信用のために使命感を持って仕事に取り組むことができ、とてもやりがいを感じています。



遠藤 友太さん

所 属：施設部 工務課
兼 大熊分析・研究センター
大熊施設部 大熊工務課
兼 原子力科学研究所
工務技術部 工務第1課

入 社 年：平成31年

【業務内容】

私は大熊分析・研究センターで機械室設備の運転保守を行っています。また、建設中の大熊分析・研究センター第1棟が放射線を扱う管理区域となるため、原子力科学研究所の原子力施設であるNUCEF施設で管理区域の業務を実務研修として行っています。

【後輩へ一言】

原子力って学科が違うけど学んだことが活用できるのか疑問に思うかもしれませんが、原子力分野は様々な分野で成り立っているため学んだことを活かせる環境です。また、教育制度が充実しているため新たなことにも挑戦でき、やりがいを感じられる職場です。



神部 光さん

所 属：施設部 工務課
兼 大熊分析・研究センター
大熊施設部 大熊工務課

入 社 年：平成28年

【業務内容】

私は、1Fの廃止措置に向けた中核拠点である大熊分析・研究センターの施設管理棟機械室設備の運転・保守を主に行っています。機械室設備とは、給排水設備や受変電設備、空調設備など建物のインフラにあたる設備のことです。

【後輩へ一言】

業務では、勉強したことが直接活かすことは少ないですが、学生生活で身に付けた問題解決能力は十分活用できます。JAEAは、新人職員の教育制度も充実しているため、高専生の皆さんも安心して働ける職場です。



青木 勇斗さん

所 属：保安管理室
兼 楢葉遠隔技術開発センター
プロジェクト管理課

入 社 年：平成29年

【業務内容】

福島研究開発拠点における安全作業に係る規則類の制定及び各安全週間・月間における安全パトロール等の活動の実施、並びに職員の安全意識向上を目的とした教育の実施等、拠点の事故・トラブルの未然防止に関わる業務を行っています。

【後輩へ一言】

JAEAには様々な業務があり、皆さんが学んできた経験を生かせる場がきっとあります。学生時代はいろんな挑戦・経験ができる貴重な時間です。勉強・部活・趣味なんでもいいので、なにかに興味を持ち、積極的に取り組んでみてください。



遠藤 佑哉さん

所 属：保安管理室
兼 大熊分析・研究センター
施設安全課

入 社 年：平成28年

【業務内容】

保安管理室は、福島研究開発拠点の安全管理の総括を行う部署です。私は、安全に係る講演会や委員会の事務局、各種訓練（通報訓練、防災訓練等）の計画立案や緊急時用資機材の整備を主に担当し、安全意識の向上活動や緊急時対応体制の整備を行っています。

【後輩へ一言】

JAEAでは、若手のうちから、大きな仕事を任せてもらえます。周りのサポートもあり、大きな達成感を得られる職場です。興味がある方はぜひエントリーしてください。

参考：勤務条件

- 初任給（2020年4月予定）
博士修了：258,300 円/月
修士修了：219,000 円/月
学部卒*：203,200 円/月
※高専卒（専攻科）
高専卒（本科）：180,900 円/月
- 諸手当
通勤手当、扶養手当、住居手当、研究手当 等
- 昇給 / 賞与
年1回 / 2回

■勤務地

国内：茨城県、北海道、青森県、福島県、千葉県、東京都、岐阜県、福井県、兵庫県、岡山県
海外：ワシントン、パリ、ウィーン

■勤務時間

9:00 - 17:30（休憩 12:00 - 13:00）

※1 勤務地により異なることがあります。

※2 勤務部署によっては、交替勤務があります。

※3 一部の所属・勤務地において、条件に合致する場合にフレックタイム制、裁量労働制を適用することができます。

■休日・休暇

完全週休 2 日制（土・日）、祝日、創立記念日、年末年始（12/29 ~ 1/3）、年次休暇、夏期休暇（7日間）、特別休暇、介護/育児休業制度等

■社会保険

健康保険、厚生年金保険、企業年金基金、雇用保険、労災保険

■福利厚生

財形貯蓄、団体生命保険（グループ保険等）、家族用宿舍、単身寮、体育館、テニスコート、グラウンド、契約施設等

 子育てサポート組織として厚生労働大臣から「くるみん」に認定されました

業 種 紹 介

研究職

研究成果を創出する職員

機構のミッションに沿った基礎研究、応用研究又は技術開発に従事し、独創性・革新性をもって新しい手法や技術を考案し、研究計画を立て、実証していく職員。創出した研究成果を積極的に発表していく。

技術職

技術管理・開発を行う職員

専門的な知識を習得し、原子力技術、放射性廃棄物の処理・処分や設備管理効率化等のニーズに基づく新技術の開発、研究施設の運転・維持管理、安全・放射線管理、研究施設等の建設や工務等に従事。安全確保や技術の高度化に係る活動を行う職員。

事務職

研究開発活動を支援し、組織運營業務を行う職員

総務、人事、経理、契約など組織運営に係る業務に従事。研究開発成果の広報活動、大学や国内・国外の研究開発機関との連携など、研究開発機関特有の業務にも従事。採用後は複数の部署を経験する。

研修 / 育成体系

【研究職】

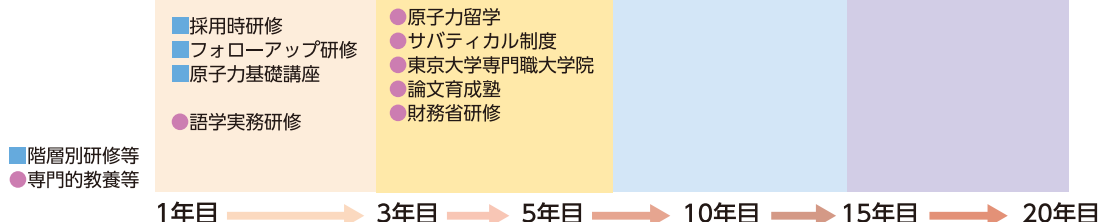
- ・博士号取得支援
- ・学会発表支援
- ・海外研究機関等への派遣

【事務職】

- ・ジョブローテーション
- ・外部講習会参加
- ・国際機関 / 中央省庁等への派遣

【技術職】

- ・OJT 教育
- ・国家資格等取得促進
- ・海外研究機関 / 中央省庁等への派遣



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門

■福島事業管理部

【いわき事務所】

〒970-8026
福島県いわき市平字大町7-1 平セントラルビル8F
TEL.0264-35-7650 FAX.0246-24-4031

【福島事務所】

〒960-8031
福島県福島市栄町6-6 NBFユニックスビル7F
TEL.024-524-1060 FAX.024-524-1069

■廃炉国際共同研究センター

〒979-1151
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚790-1
TEL.0240-21-3530 FAX.0240-22-0100

■楢葉遠隔技術開発センター

〒979-0513
福島県双葉郡楢葉町大字山田岡字仲丸1-22
TEL.0240-26-1040 FAX.0240-26-1041
<https://naraha.jaea.go.jp/>

■大熊分析・研究センター

TEL.0246-35-7650(いわき事務所取扱い)

■福島環境安全センター

〒963-7700
福島県田村郡三春町深作10-2
福島県環境創造センター研究棟内
TEL.0247-61-2910 FAX.0247-62-3650
〒975-0036
福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169
福島県環境創造センター環境放射線センター内
TEL.0244-25-2072 FAX.0244-24-2011



JAEA 福島ホームページ
<https://fukushima.jaea.go.jp/>